

令和2年度

# 事業報告書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

## I 事業の概要

### 1 農作物共済

#### (1) 水 稲

引受面積は、一筆方式18,110ha、品質方式1ha、合計18,111ha（前年対比88.7%）、共済金額は10,302,775千余円（前年対比88.1%）となった。また、収入保険加入者は452戸、3,140haであった。

作柄は、早期栽培は梅雨明け以降の高温で生育の遅れを取り戻し、ほぼ平年並みの作柄となった。早植栽培は、梅雨の日照不足等の影響を受けたが、8月の気温が平年より高温に推移したため成熟期がやや早まったが概ね平年並みの作柄となった。普通栽培は8月が高温で推移したため登熟不良が懸念されたが概ね平年並みの作柄となった。

被害については、7月の低温多雨・日照不足、梅雨明け後の高温による登熟不良が懸念されることから注意喚起を行なったが、国への特例申請には至らなかった。

しかし、県内全ての作型でいもち病が見受けられ、特に晩生以降では初期生育時に発生し減収となった。その他、7月中旬と9月下旬の風水害による倒伏を原因とした穂発芽の発生及び虫害（スクミリンゴガイ）、鳥獣害等により被害を受け減収となった。

一筆方式の支払共済金は21,259千余円、品質方式は、13千余円で両方式とも通常災害となった。

#### (2) 陸 稲

陸稲の引受はなかった。

#### (3) 麦

令和3年産の引受面積は、一筆方式3,120ha、災害収入共済方式425ha、合計3,545ha（前年対比89.3%）、共済金額は847,318千余円（前年対比81.6%）となった。また、収入保険加入者は57戸、487haであった。

作柄は、台風19号と11月下旬の降雨による水稻の収穫作業が遅れ、ほ場が乾燥しない等播種作業は遅れた。12月～3月は高温に推移したが、播種時期によって生育にばらつきがあった。4月は低温の影響で生育が停滞したが、5月～6月の登熟期間は順調に推移した。しかし、収穫作業は降雨の影響で進まず合間での作業となった。

収量は、ほ場によってばらつきがみられたが全体的に概ね平年並みとなった。

被害については、11月下旬と1月下旬のまとまった降雨による土壌湿潤害、3月中下旬と4月中旬の降雨による雨害湿潤害によって減収となった。

一筆方式の支払共済金は13,169千余円、災害収入共済方式の支払共済金は15,216千余円で両方式とも通常災害となった。

## 2 家畜共済

引受戸数は、死亡廃用は延 434 戸、疾病傷害は延 268 戸、合計 702 戸（前年対比 90.8%）、共済金額は 2,332,083 千余円（前年対比 96.1%）となった。

減少の理由としては、農家の高齢化と後継者不足からの廃業があげられる。また養豚農家に関しては、豚熱（豚コレラ）の発生による廃業と近隣開発による廃業が重なった。

共済事故は、死廃共済金 119,055 千余円（前年対比 91.6%）病傷共済金 108,897 千余円（前年対比 89.8%）支払となった。死廃事故は近年増加傾向である牛伝染性リンパ腫（牛白血病）が 10 頭あった。病傷事故に関しては、例年に変わらず生殖器病（繁殖関係）が全体の 3 割強で、続いて泌乳器病（乳房炎）、消化器病の順であった。

## 3 果樹共済

### (1) なし

令和 3 年産引受面積は、半相殺減収総合方式 43ha、樹園地単位減収総合方式 10ha 合計 53ha（前年対比 83.4%）、共済金額は 280,070 千余円（前年対比 86.6%）となった。また、収入保険加入者は 44 戸、24ha であった。

令和 2 年産被害は 3 月 29 日県内全域で降雪、以降 4 月上旬まで低温による凍霜害が発生したため受粉が阻害され、果実不良により減収となった。また、梅雨明け後高温が続いたため、その他の気象上の災害（日焼け）、その他虫害（シンクイムシ）、鳥獣害が発生し減収となった。

半相殺減収総合方式の支払共済金は 11,719 千余円、樹園地単位減収総合方式の支払共済金は 1,157 千余円となり両方式とも異常災害となった。

### (2) ぶどう

令和 2 年産引受面積は、半相殺減収総合方式 5ha、半相殺特定危険方式 4.2ha、樹園地単位減収総合方式 0.8ha、合計 10ha（前年対比 95.7%）、共済金額は 71,680 千円（前年対比 103.9%）となった。また、収入保険加入者は 16 戸、11ha であった。

令和 2 年産被害は、長梅雨による病害（晩腐病・べと病）梅雨明け後の高温、少雨によるその他気象上の原因による災害（高温障害）が発生し減収となった。

半相殺減収総合方式の支払共済金は 3,621 千余円、樹園地単位減収総合方式の支払共済金は 1,409 千余円となり両方式とも異常災害となった。半相殺特定危険方式は無被害であった。

## 4 畑作物共済

### (1) 大 豆

引受面積は、一筆方式 50ha、全相殺方式 121ha、合計 171ha（前年対比 95.9%）、共済金額は 23,582 千余円（前年対比 91.1%）となった。また、収入保険加入者は 29 戸、190ha であった。

被害は、長梅雨の影響で播種ができない状態が続き 8 月上旬から作業が始まったため、その後の高温少雨により発芽率が低下した。また、生育期間が短く、成熟が十分でないまま収穫期を迎えたため未熟粒や小粒がみられ減収した。

支払共済金は、第 1 区分（一筆方式）については 438 千余円、第 2 区分（全相殺方式）については 4,953 千余円で両方式とも異常災害となった。

### (2) 茶

令和 3 年産引受面積は、半相殺方式 9 ha（前年対比 65.5%）、共済金額は 6,541 千余円（前年対比 70.3%）となった。また、収入保険加入者は 29 戸、128ha であった。

令和 2 年産被害は、3 月中旬から 4 月上旬にかけての低温の影響により寒害が発生し、新芽の生長が不揃いとなった。また、4 月 6 日と 4 月 15 日の降霜により、凍霜害が発生し新芽の黒変や変形が見られ減収となった。

支払共済金は 187 千余円で、通常災害となった。

### (3) スイートコーン

引受面積は全相殺方式7.3ha（前年対比84.4%）、共済金額は10,966千余円（前年対比79.1%）となった。また、収入保険加入者は21戸、51haであった。

被害については、6月6日と7月8日の暴風雨によって倒伏し減収となった。支払共済金は51千余円で通常災害となった。

### (4) 蚕 繭

引受箱数は、62.97箱（前年対比61.4%）、共済金額は3,912千余円（前年対比61.5%）となった。

被害はなかった。

## 5 園芸施設共済

引受戸数は、3,335戸（前年対比121.4%）、引受棟数は8,934棟（前年対比113.3%）、共済金額は152億8,900万余円（前年対比122.7%）で、前年度との比較では、戸数、棟数、共済金額ともに個別推進により増加となった。

被害は、自然災害等では風害、風水害136棟（令和元年10月12日の台風19号の復旧費用1棟を含む）、落雷15棟、ひょう害4棟、雪害1棟（令和2年3月29日の雪害による復旧費用1棟）となった。また、自然災害等以外では施設内農作物の病虫害24棟、火災2棟、鳥獣害1棟であった。

被害棟数の合計183棟（前年対比55.1%）で、支払共済金は22,958千余円（前年対比50.4%）となった。

## 6 任意共済

建物共済は、近年の自然災害を鑑み総合共済の補償拡充を活かした提案型の加入推進を図った結果、引受共済金額1兆3,494億余円（前年対比96.1%）となった。その内訳は、火災共済が1兆2,792億余円（前年対比95.4%）、総合共済が702億余円（前年対比110.1%）の成績となった。

農機具共済は、機種ごとの新調達価額に見合った共済金額の増額加入やトラクター等の盗難に備えた加入推進に努めた結果、農機具損害共済の引受共済金額は234億余円（前年対比106.8%）、農機具更新共済の年度末保有共済金額は1億2,140万円（前年対比70.3%）となった。

保管中農産物補償共済は、洪水や浸水が想定される地域を推進した結果、引受共済金額は、10,000千円となった。

任意共済事業の総共済金額は1兆3,730億余円となった。

事故は、建物共済では、落雷や強風などにより事故棟数452棟、支払共済金2億558万余円（前年対比43.1%）となり、前年度に比べ減少した。農機具損害共済は、農作業中の接触、異物の巻き込み及び盗難による盗取などにより、事故台数233台、支払共済金87,396千余円（前年対比79.9%）となり、前年度に比べ減少した。農機具更新共済では、接触により事故台数2台、支払共済金683千余円、期間満了台数45台、農機具減価共済金41,450千円（前年対比66.4%）となり、任意共済事業の総支払共済金は3億3,511万余円であった。

## 7 農業経営収入保険

令和2年6月18日に埼玉県収入保険推進協議会が設立され、各関係機関及び各関係団体とともに、多様な農業者へ広く制度の普及や周知に努め、1,044経営体（前年対比221.7%）、補償額は16,240,084千余円（前年対比252.2%）と加入増加に結び付けた。

支払補てん金は93経営体で248,640千余円となり、つなぎ融資（無利子）については18経営体で116千余円の利用があった。収入減少の主な要因としては、台風19号や記録的な日照不足などの影響を受けたものと考えられる。

## II 事業の実績

### 1 農作物共済関係

#### (1) 引受

年産	共済目的		組合員数	引受面積
2年産	水 稲	一 筆 方 式	18,521	1,810,996
		品 質 方 式	1	124
		計	18,522	1,811,120
	陸 稲			
	麦	一 筆 方 式	329	346,058
		災害収入共済方式	120	51,148
		計	449	397,206
合 計		延 実 18,971 17,660	2,208,326	
3年産	麦	一 筆 方 式	251	311,992
		災害収入共済方式	118	42,531
		計	369	354,523

#### (引受概要)

水稲の引受面積は、一筆方式18,109ha、品質方式1ha、合計18,111ha（前年対比88.7%）、共済金額10,302,775千余円（前年対比88.1%）となった。一筆方式10a当たりの共済金額は56,883円、同農家負担共済掛金24円、品質方式10a当たりの共済金額は89,709円、同農家負担共済掛金113円となった。

陸稲は引受がなかった。

#### (2) 被 害

共済目的		被害組合員数	共済金	共 済 金 共済金額
		人	円	%
水稲	一 筆 方 式	262	21,259,249	0.2
	品 質 方 式	1	13,230	1.2
	計	263	21,272,479	0.2
陸 稲				
麦	一 筆 方 式	105	13,169,572	1.6
	災害収入共済方式	54	15,216,357	6.3
	計	159	28,385,929	2.7
合 計		422	49,658,408	0.4

#### (3) 支 払

共済目的		支払月日	実支払共済金	共 保 険 金
			円	円
水稲	一 筆 方 式	12月22日	21,259,249	/
	品 質 方 式	2月5日	13,230	
	計		21,272,479	
陸 稲				
麦	一 筆 方 式	9月16日	13,169,572	
	災害収入共済方式	12月22日	15,216,357	
	計		28,385,929	
合 計			49,658,408	

#### (4) 損害防止

県が実施している病虫害発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、水稲種もみの温湯消毒、病虫害等防除薬剤費または鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成した。

共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料(△)	手持共済掛金
円	円	円	円
10,301,663,130	4,504,873		
1,112,400	1,407		
10,302,775,530	4,506,280		
798,824,669	14,225,214		
239,800,601	8,691,170		
1,038,625,270	22,916,384		
11,341,400,800	27,422,664	23,618,535	51,041,199
677,108,585	11,552,407		
170,209,764	6,322,585		
847,318,349	17,874,992		

麦の引受面積は、一筆方式3,120ha、災害収入共済方式425ha、合計3,545ha（前年対比89.3%）、共済金額847,318千円（前年対比81.6%）となった。一筆方式10a当たりの共済金額は21,702円、同農家負担共済掛金370円、災害収入共済方式10a当たりの共済金額は40,020円、同農家負担共済掛金1,486円となった。

（被害概要）

水稻は、7月の低温多雨・日照不足梅雨明け後高温による登熟不良が懸念されることから注意喚起を行なったが、国への特例申請には至らなかった。しかし県内全域でいもち病が見受けられた。また7月中旬、9月下旬の風水害による倒伏に伴う穂発芽、鳥獣害、イノシシ等による獣害、スクミリンゴガイ等の虫害の被害を受けた。

麦は、台風19号、11月下旬の降雨による水稻の収穫遅れに伴い、播種が遅れたが、5月～6月の登熟期間には順調に推移した。被害は、11月下旬・1月下旬のまとまった降雨による土壌湿潤害、及び3月中下旬の降雨による雨害湿潤害による被害を受けた。

濟 金 支 払 財 源				実支払共済金
手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共 済 金
円	円	円	円	%
8,907,414				100.0
2,445				100.0
8,909,859				100.0
13,169,572				100.0
15,216,357				100.0
28,385,929				100.0
37,295,788	12,362,620			100.0

2 家畜共済関係

(1) 引受

区分		項目	組合員数	有資格頭数	事業計画 頭数①	引受頭数②	② ①
死亡 廃用 共済	搾乳牛	人	133	頭 6,560	頭 5,804	頭 5,630	% 97.0
	育成乳牛		122	1,880	3,008	3,017	100.3
	繁殖用雌牛		51	1,420	758	757	99.9
	育成・肥育牛		121	15,180	3,256	3,241	99.5
	繁殖用雌馬						
	育成・肥育馬			8	8		
	種豚		4	9,040	537	252	46.9
	肉豚		3	79,400	2,112	1,858	88.0
	種雄牛						
	種雄馬						
	計		434	113,488	15,483	14,755	95.3
疾病 傷害 共済	乳用牛		146	8,440	6,468	6,599	102.0
	肉用牛		119	16,600	1,698	1,817	107.0
	一般馬			8	8		
	種豚		3	9,040	364	207	56.9
	種雄牛						
	種雄馬						
	計		268	34,088	8,538	8,623	101.0
合計			702	147,576	24,021	23,378	97.3

(引受概要)

新制度の説明をし、農家のニーズに合った引受方式を提案した。酪農家には胎児・子牛の品種が対象となる死廃共済と過去の治療費に見合った病傷共済加入を推進。

(2) 事故

区分	項目	死亡廃用共済			支払共済金 円
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	
搾乳牛	頭	241	459	700	92,004,446
育成乳牛		112	3	115	5,623,609
繁殖用雌牛		10	8	18	2,550,476
育成・肥育牛		195	7	202	15,891,940
繁殖用雌馬					
育成・肥育馬					
種豚		19	11	30	853,478
肉豚		294		294	2,131,995
種雄牛					
種雄馬					
	計	871	488	1,359	119,055,944

(3) 損害防止

区分	実施種目	対象頭数	経費概算 円
特定損害防止		頭 —	円 —
一般損害防止	予防衛生措置	11,322	1,454,535

(4) 診療所

診療所名	職員数 人	管内 (肉豚を除く)		共済事故 頭
		有資格頭数 頭	加入頭数 頭	
家畜診療所	9	34,088	8,623	2,117

共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料(△)	手持共済掛金
円	円	円	円
1,031,789,669	47,444,979		
514,222,252	3,646,429		
153,872,550	2,042,108		
458,904,472	5,901,274		
12,646,800	532,421		
13,860,000	1,426,943		
2,185,295,743	60,994,154	57,253,694	118,247,848
128,799,049	39,270,177		
17,738,753	3,930,615		
250,000	4,408		
146,787,802	43,205,200	42,998,126	86,203,326
2,332,083,545	104,199,354	100,251,820	204,451,174

また、危険段階別掛金率の趣旨を説明し家畜診療所の協力のもと、戸別推進に努めた。

区分	項目	疾病傷害共済	
		件数	支払共済金
		件	円
乳用牛		7,286	97,468,581
肉用牛		1,086	11,392,534
一般馬			
種豚		9	36,702
種雄牛			
種雄馬			
	計	8,381	108,897,817

(被害概況)

死亡廃用事故、疾病共済事故ともには昨年度より減少した。死廃共済金は前年比91.6%、病傷共済金は前年比89.8%であった。

摘 要			
蹄浴剤、消炎剤、動物用体温計	1,125,415 円	生菌製剤	275,000 円
除菌剤	54,120 円		

診療件数		損害防止事業			摘要
事故外	診療外	一般	特損	経費概算	
頭	頭	頭	頭	円	
219	2,515	11,322	1	1,454,535	

### 3 果樹共済関係

#### (1) 引受

年度	果樹区分		組合員数	引受面積	共済金額
元年	なし	半相殺減収総合短縮方式	201	4,929	252,949,000
		樹園地単位減収総合短縮方式	39	1,479	70,493,000
		計	240	6,408	323,442,000
2年	ぶどう	半相殺減収総合短縮方式	30	503	32,920,000
		半相殺特定危険（ひょう害）方式	15	420	33,511,000
		樹園地単位減収総合短縮方式	5	85	5,249,000
		計	50	1,008	71,680,000
合計			290	7,416	395,122,000
2年	なし	半相殺減収総合短縮方式	179	4,349	231,409,000
		樹園地単位減収総合短縮方式	31	996	48,661,000
		計	210	5,345	280,070,000

#### (引受概要)

令和3年産のなしの引受面積については半相殺減収総合短縮方式が、前年対比88.2%、樹園地減収総合短縮方式が、前年対比67.4%、全体で前年対比83.4%と減少した。

令和2年産のぶどうの引受面積については半相殺減収総合短縮方式が、前年対比110.9%、半相殺特定危険方式が、前年対比94.4%、樹園地減収総合短縮方式が、前年対比54.8%、全体で前年対比95.7%と減少した。

#### (2) 被害

果樹区分		被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
なし	半相殺減収総合短縮方式	55	11,719,860	4.6
	樹園地単位減収総合短縮方式	8	1,157,780	1.6
	計	63	12,877,640	4.0
ぶどう	半相殺減収総合短縮方式	11	3,621,560	11.0
	減収ひょう害方式			
	樹園地単位減収総合短縮方式	2	1,409,780	26.9
	計	13	5,031,340	7.0
合計		76	17,908,980	4.5

#### (3) 支払

果樹区分		支払月日	実支払共済金	保険金
なし	半相殺減収総合短縮方式	12月17日	11,719,860	円
	樹園地単位減収総合短縮方式	12月17日	1,157,780	
	計		12,877,640	
ぶどう	半相殺減収総合短縮方式	12月17日	3,621,560	
	減収ひょう害方式			
	樹園地単位減収総合短縮方式	12月17日	1,409,780	
	計		5,031,340	
合計			17,908,980	11,450,302

#### (4) 損害防止

県が実施している病害虫発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、病虫害防除等に使用した薬剤購入経費、鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成した。



徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料 (△)	手持共済掛金
円	円	円
4,389,632		
617,835		
5,007,467	△ 218,810	4,788,657
356,007		
84,285		
48,099		
488,391	193,648	682,039
5,495,858	△ 25,162	5,470,696
3,963,620		
462,207		
4,425,827	△ 207,278	4,218,549

(被害及び評価概況)

なし：3月29日に県内全域で降雪があり、低温による凍霜害が発生、また、梅雨明け直後の高温、猛暑による日焼け、その他虫害及び鳥獣害が発生した。被害は、受粉期の低温を原因とする凍霜害で県内全域、猛暑による日焼けで白岡市他5市、カラスによる食害で鴻巣市他2市、シンクイムシによる食害で東松山市他3市、ハクビシンによる食害により富士見市でそれぞれ減収した。

ぶどう：寒害及び長梅雨を原因とする病害、高温による日焼けが発生した。被害は病害(べと病、晚腐病)が秩父市他3町で発生、その他気象上の災害の高温障害で上尾市他1市1町、長瀨町の寒害によりそれぞれ減収した。

共 済 金 支 払 財 源				実支払共済金 共 済 金
手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
円	円	円	円	%
4,113,474				100.0
675,183				100.0
4,788,657				100.0
463,328				100.0
73,627				100.0
536,955				100.0
5,325,612	1,133,066			100.0

#### 4 畑作物共済関係

##### (1) 引受

年度	畑作物区分		項目	組合員数	引受面積 (共済箱数)	共済金額
元年	茶	半相殺方式		人	a (箱)	円
		災害収入共済方式		29	1,408	9,302,320
		計		29	1,408	9,302,320
2年	大豆	半相殺・一筆方式		7	5,080	7,792,328
		全相殺方式		24	12,060	15,790,482
		計		31	17,140	23,582,810
	茶	半相殺方式		22	922	6,541,340
		災害収入共済方式				
		計		22	922	6,541,340
	スイートコーン			13	735	10,966,089
	蚕繭	春 蚕 繭		11	28.07	1,907,550
		初 秋 蚕 繭		7	12.72	770,310
		晩 秋 蚕 繭		10	22.18	1,234,440
計			28	62.97	3,912,300	
合 計			延実	94		
			72	18,797	45,002,539	

##### (引受概要)

大豆：引受戸数31戸、引受面積前年対比95.9%、一筆方式10 a 当たりの共済金額は15,338円、同農家負担共済掛金は353円、全相殺方式10 a 当たりの共済金額は13,093円、同農家負担共済掛金は637円となった。

茶：引受戸数22戸、引受面積前年対比65.5%、10 a 当たりの共済金額は70,947円、同農家負担共済掛金は1,622円となった。

##### (2) 被害

畑作物区分		項目	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
大豆	半相殺・一筆方式		人	円	%
	全相殺方式		6	438,072	5.6
	計		14	4,953,506	31.4
茶	半相殺方式		2	187,950	2.0
	災害収入共済方式				
	計		2	187,950	2.0
スイートコーン			1	51,254	0.5

##### (被害概要)

大豆：6月中旬から7月下旬にかけての土壌湿潤害及び8月の高温乾燥に伴う干害により減収した。

茶：寒害及び凍霜害により減収した。

スイートコーン：風水害により減収となった。

##### (3) 支払

畑作物区分		項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金	
					保険金	手持掛金充当額
大豆	半相殺・一筆方式		2月5日	円	円	円
	全相殺方式		3月29日	438,072		215,313
	計			4,953,506		979,842
茶	半相殺方式		8月12日	5,391,578		1,195,155
	災害収入共済方式			187,950		187,950
	計			187,950		187,950
スイートコーン			10月21日	51,254		51,254
蚕繭	春 蚕 繭					
	初 秋 蚕 繭					
	晩 秋 蚕 繭					
計				0	0	
合 計				5,630,782	2,899,317	1,434,359

##### (4) 損害防止

県が実施している病害虫発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、病虫害防除等に使用した薬剤購入経費または鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成

徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料 (△)	手持共済掛金
円 175,603	円	円
175,603	12,929	188,532
179,688		
768,298		
947,986		
149,551		
149,551		
122,752		
5,863		
8,651		
9,465		
23,979		
1,244,268	277,706	1,521,974

スイートコーン：引受戸数13戸、引受面積前年対比84.4%、10a当たりの共済金額は149,117円、同農家負担共済掛金は1,669円となった。

蚕繭：引受戸数28戸、引受箱数前年対比61.4%、春蚕繭1箱当たりの共済金額は67,956円、同農家負担共済掛金208円、初秋蚕繭1箱当たりの共済金額は60,558円、同農家負担共済掛金680円、晩秋蚕繭1箱当たりの共済金額は55,655円、同農家負担共済掛金426円となった。

畑作物区分		項目	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
蚕繭	春	蚕繭	人	円	%
	初秋	蚕繭	0	0	0.0
	晩秋	蚕繭	0	0	0.0
	計		0	0	0.0
合計		延実	23		
		実	23	5,630,782	11.8

蚕繭：被害なし。

支 払 財 源			実支払共済金
法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共済金
円	円	円	%
			100.0
			100.0
			100.0
			100.0
			100.0
			100.0
			100.0
1,297,106			100.0

5 園芸施設共済関係

(1) 引受

施設区分		項目		組合員数	引受棟数	設置面積	特定園芸施設
		人	棟				
ガラス	I 類						
	II 類		137	226	170,446	1,612,613	
プラスチック	I 類						
	II 類	1,817	6,530	1,276,009	2,614,307		
	III 類	136	158	140,520	431,653		
	IV類 (甲)	619	876	822,705	4,062,640		
	IV類 (乙)	345	484	470,759	2,436,023		
	V 類	93	141	84,853	500,607		
	VI 類	22	168	25,413	41,462		
VII 類	166	351	679,135	297,713			
合計		3,335	8,934	3,669,840	11,997,018		

施設区分		項目			
		特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用
ガラス	I 類	千円	千円	千円	千円
	II 類	1,377,751	365,432	65,780	24,279
プラスチック	I 類				
	II 類	2,199,035	217,603	197,652	50,668
	III 類	364,164	40,717	96,811	29,288
	IV類 (甲)	3,381,419	510,432	817,868	202,423
	IV類 (乙)	2,019,819	271,950	398,788	93,100
	V 類	413,307	88,031	85,733	33,023
	VI 類	33,163	6,897	0	0
VII 類	257,490	17,911	0	0	
合計		10,046,148	1,518,973	1,662,632	432,781

(引受概要)

引受戸数は、3,335戸（前年対比121.4%）、引受棟数8,934棟（前年対比113.3%）、共済金額は152億8,900万余円（前年対比122.7%）で、前年度との比較では、戸数、棟数、

(2) 被害

施設区分		被害			損害の額
		組合員数	棟数	附帯施設数	
ガラス	I 類	人	棟	基	円
	II 類	4	4	0	990,667
プラスチック	I 類				
	II 類	72	108	2	8,287,081
	III 類	3	4	3	356,286
	IV類 (甲)	30	34	8	7,673,625
	IV類 (乙)	22	25	12	5,633,905
	V 類	2	2	0	4,939,473
	VI 類	1	1	0	169,792
VII 類	5	5	0	465,167	
合計		139	183	25	28,515,996

(被害及び評価概況)

被害は、自然災害等では風害、風水害で136棟（令和元年10月12日の台風19号の復旧費用1棟を含む。）、落雷で15棟、ひょう害で4棟、雪害で1棟（令和2年3月29日の雪害による復旧費用1棟）となった。また、自然災害等以外では、施設内農作物の病虫害で24

(3) 支払

実支払共済金	共済金支払		
	保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額
円 22,958,832	円 3,796,029	円 19,162,803	円

(4) 損害防止

県が実施している病虫害発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した。

共 済 価 額					
特定園芸施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	撤去費用	合計
千円	千円	千円	千円	千円	千円
419,198	79,950	28,788	68,513	108,594	2,317,656
255,682	235,309	61,260	245,596	141,687	3,553,841
47,803	111,141	32,861	46,180	50,670	720,308
602,732	984,075	239,442	361,972	437,751	6,688,612
319,611	487,487	113,484	231,768	209,047	3,797,420
106,162	103,107	40,214	16,157	46,618	812,865
8,624	0	0	0	5,619	55,705
19,512	0	0	0	20,667	337,892
1,779,324	2,001,069	516,049	970,186	1,020,653	18,284,299

額			徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料 (△)	手持共済掛金
施設内農作物	撤去費用	合計			
千円	千円	千円	円	円	円
54,806	92,864	1,980,912	2,418,852	544,230	2,963,082
196,326	119,120	2,980,404	26,230,943	△11,477,094	14,753,849
36,936	42,667	610,583	5,383,418	△3,871,070	1,512,348
289,522	362,820	5,564,484	15,859,593	△10,242,202	5,617,391
185,381	173,992	3,143,030	10,605,418	△5,057,962	5,547,456
12,923	38,257	671,274	1,946,705	△220,632	1,726,073
0	4,495	44,555	995,815	△443,189	552,626
0	18,549	293,950	1,832,212	683,212	2,515,424
775,894	852,764	15,289,192	65,272,956	△30,084,707	35,188,249

共済金額ともに個別推進により増加となった。

共 済 金					共済金 共済金額
特定園芸施設	附帯施設	施設内農作物	撤去復旧費用	合 計	%
円	円	円	円	円	
592,726	0	136,744	63,062	792,532	0.04
5,790,217	35,915	887,430	15,910	6,729,472	0.23
14,020	234,872	0	38,940	287,832	0.05
1,436,843	2,518,029	2,167,971	56,292	6,179,135	0.11
1,575,155	1,923,011	875,835	137,280	4,511,281	0.14
2,559,978	0	0	1,391,000	3,950,978	0.59
135,663	0	0	0	135,663	0.30
326,180	0	0	45,759	371,939	0.13
12,430,782	4,711,827	4,067,980	1,748,243	22,958,832	0.15

棟、火災で2棟、鳥獣害で1棟。合計183棟（前年対比55.1%）で、支払共済金は、22,958千余円（前年対比50.4%）となった。

財 源		実支払共済金 共 済 金
特別積立金充当額	その他	
円	円	%
		100.0

6 任意共済関係

(1) 建物共済

ア 引受

区分	項目	加入棟数	共 済 金 額	共 済
				純共済掛金
		棟	円	円
	火 災 共 済	106,319	1,279,225,840,000	551,499,651
	総 合 共 済	10,446	70,252,930,000	124,349,033
	合 計	116,765	1,349,478,770,000	675,848,684

(注) 共済掛金総額 1,209,237,169円

保険割合 火災共済及び総合共済（地震以外）30%、総合共済（地震等）50%

(引受概要)

建物共済全体の加入棟数は、116,765棟（前年対比96.0%）、共済金額1兆3,494億余円（前年対比96.1%）と前年に比べ減少したが、自然災害を対象とした総合共済の引受拡大に重点を置き推進した結果、総合共済加入棟数10,446棟（前年対比102.5%）総合共済共済金額702億余円（前年対比110.1%）と増加した。

イ 事 故

事 故 棟 数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共
		火 災
棟	円	円
452	5,885,030,000	163,568,930

(事故概況)

事故棟数は、落雷が最も多く、次いで強風が多かった。事故原因別の支払共済金は、類焼や落雷による支払が多かった。

ウ 原因別事故

事 故 原 因 別		事故棟数	加入総共済金額 (イ)
火 災 (拡張担保を含む)	落 雷	207	3,017,330,000
	盗 難 に よ る 汚 毀 損 類	44	587,700,000
	車 両 の 飛 び 込 み	14	147,500,000
	給 排 水 設 備	14	256,000,000
	外 部 か ら の 落 下 等	13	247,500,000
	水 道 管 凍 結	10	137,100,000
	建 物 内 部 の 車 両 衝 突	10	128,900,000
	漏 電	4	55,200,000
	不 明 ・ 調 査 中	4	88,000,000
	そ の 他	4	28,000,000
自 然 災 害	そ の 他	15	143,000,000
	台 風	51	440,700,000
	強 風	50	498,000,000
合 計		12	110,100,000
合 計		452	5,885,030,000

掛 金	1 棟当り平均 共済金額	建物保険料	保険手数料収入
組合事務費			
円	円	円	円
451,100,551	12,030,000	300,626,347	121,744,068
82,287,934	6,730,000	97,051,295	29,024,898
533,388,485	11,560,000	397,677,642	150,768,966

済 金 (口)	建物保険金	被害率 (口) / (イ)	備 考
風水害等			
円	円	%	
42,019,433	61,676,345	3.5	

支払共済金 (口)	建物保険金	被害率 (口) / (イ)	備 考
円	円	%	
36,052,954	10,815,816	1.2	
2,227,320	668,184	0.4	
44,546,181	13,363,848	30.2	
2,528,703	758,605	1.0	
4,110,039	1,233,007	1.7	
1,249,215	374,762	0.9	
515,589	154,676	0.4	
714,423	214,326	1.3	
412,670	123,799	0.5	
23,359,262	7,007,777	83.4	
47,852,574	14,355,769	33.5	
23,069,141	6,920,718	5.2	
14,758,056	4,427,393	3.0	
4,192,236	1,257,665	3.8	
205,588,363	61,676,345	3.5	

(2) 農機具損害共済

ア 引 受

加 入 台 数	共 済 金 額	共 済	
		純 共 済 掛 金	支 払 共 済 金
台 11,693	円 23,457,430,000	円 103,653,823	

(引受概要)

未加入農機具の加入推進と補償の充実を図るため、新調達価額までの加入共済金額の引上げ推進に努めた。加入台数は、11,693台（前年対比103.6%）共済金額234億5千万余円（前年対比106.8%）と増加した。

イ 事 故

事 故 台 数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)
台 233	円 865,600,000	円 87,396,991

(事故概況)

事故原因別では、稼働中の接触が最も多く、次いで異物の巻き込みが多かった。盗難による盗取が発生し、4台の農機具が被害にあった。

ウ 原因別事故

事 故 原 因 別		事故台数	加入総共済金額 (イ)
格 納 中	台	6	円 7,850,000
	鳥 獣	6	44,000,000
	そ の 他	11	36,600,000
稼 働 中	接 触	120	452,900,000
	異 物 の 卷 込 み	44	177,050,000
	稼 働 中 の 事 故	19	77,850,000
	衝 突	12	15,150,000
	墜 落	6	19,300,000
	そ の 他	9	32,180,000
合 計		233	862,880,000

(3) 保管中農産物補償共済

ア 引 受

加 入 口 数	共 済 金 額	共 済 掛 金		
		純 共 済 掛 金	事 務 費	支 払 共 済 金
口 10	円 10,000,000	円 20,300	円 7,400	円 1,300

(引受概要)

洪水や浸水が想定される地域の加入推進を行なった。

イ 事 故

事故なし

ウ 原因別事故

事故なし

7 農機具更新共済関係

(1) 引 受

加 入 台 数	共 済 金 額	減 価 共 済 金 額
台 51	円 121,400,000	円 90,900,000

(引受概要)

共済責任期間満了となった農機具については、損害共済への加入推進を行なった。

(2) 事 故

事故台数	期間満了等台数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金	
			火災・風水害等 (ロ)	支 払 共 済 金
台 2	台 45	円 13,600,000	円 683,450	

(事故概況)

事故は、2台の接触事故が発生した。

共済責任期間満了による減価共済金として41,450千円の支払を行なった。



掛 金	1台当り平均 共済金額
組合事務費	
円 39,122,597	円 2,010,000

被害率 (ロ) / (イ)	備考
% 10.1	

支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)	備 考
円 7,850,000	% 100.0	
1,668,091	3.8	
6,381,835	17.4	
31,236,133	6.9	
13,895,279	7.8	
5,147,598	6.6	
3,051,309	20.1	
2,883,027	14.9	
15,283,719	47.5	
87,396,991	10.1	

1口当り平均 共済金額	保管中農産物保険料
円 1,000,000	円 21,600

共 済 掛 金	掛 金
純 共 済 掛 金	組 合 事 務 費
円 13,183,350	円 485,600

払 共 済 金	被害率
期間満了によるもの	(ロ)/(イ)
円 41,450,000	円 42,133,450
	% 5.0

## 8 農業経営収入保険関係

### (1) 引受関係

経営形態	経営体数	基準収入	補償額
	経営体	円	円
個人経営体	926	13,274,931,611	10,622,352,419
法人経営体	118	7,243,193,344	5,617,732,319
計	1,044	20,518,124,955	16,240,084,738

### (2) 支払関係

経営形態	補てん金		
	経営体数	保険金	特約補てん金
	経営体	円	円
個人経営体	75	62,317,971	73,567,556
法人経営体	18	60,721,064	52,034,377
計	93	123,039,035	125,601,933

## 9 業務関係

### (1) 重要な処理事項

年月日	処理事項
令和2年	
4月1日	辞令交付
4月13日	茶巡回調査
4月21日	都道府県農業保険主管課長会議及び農業共済団体参事会議
4月22日	全国広報参事等会議
5月15日	余裕金運用管理委員会、関東地区参事会議
5月19日	監事会、決算監査
5月25日	関東地区特定組合長会議（書面議決）
5月28日	理事会、研修基金運用管理委員会
5月29日	麦巡回調査
6月5日	収入保険に関する研修会
6月9日	物品等購入選定委員会
6月11日	第4回通常総代会
6月25日	全国特定組合長等会議、新規採用職員研修会（～29日）
6月30日	理事会
7月1日	情報化推進会議
7月2日	メンタルヘルス研修会（9日）
7月6日	果樹作柄等巡回調査（10日）
7月10日	農水省主催園芸施設共済意見交換会（17日、8/6）
7月13日	水稻登熟不良等被害対策会議
7月31日	損害評価会全体会議、畑作物共済第二部会、園芸施設共済部会
8月3日	情報推進委員会
8月4日	水稻登熟不良等被害対策会議（5日）
8月7日	理事会
8月25日	収入保険及び税務研修会（9/4、9/11）
9月2日	損害評価会農作物共済部会
9月6日	農業技術研修会
9月16日	水稻巡回調査（～18日）

令和3年3月31日現在

納 入 保 険 料 等			
保険料	積立金	付加保険料	合計
円	円	円	円
98,130,646	285,952,062	26,524,477	410,607,185
47,565,651	149,610,691	12,198,110	209,374,452
145,696,297	435,562,753	38,722,587	619,981,637

つなぎ資金		
合計	経営体数	借入申請金額
円	経営体	円
135,885,527	9	17,820,000
112,755,441	9	98,580,000
248,640,968	18	116,400,000

年月日	処理事項
10月6日	特定組合長会議、NOSAI全国連臨時総会
10月7日	退職給与金施設運用管理委員会
10月9日	損害評価会畑作物共済第一部会
10月14日	全国参事会議
10月16日	収入保険推進協議会
10月22日	常例検査（30日、11/6、11/13、11/25～11/27）
11月2日	余裕金運用管理委員会
11月6日	NOSAI全国連臨時総会
11月16日	監事会、中間監査（17日・19日・20日）
11月24日	全国NOSAI全国大会
11月30日	理事会
12月3日	損害評価会果樹共済部会
12月9日	損害評価会農作物共済部会
12月21日	家畜診療所運営委員会
令和3年	
1月25日	都道府県農業保険制度関係担当者及び農業共済組合連合会等総務・指導担当者合同会議
1月27日	損害評価会家畜共済部会
2月1日	余裕金運用管理委員会、土地等処分・取得適正化委員会、支所管轄区域再編検討委員会 損害評価会農作物共済部会、畑作物共済第一部会
2月15日	理事会
2月17日	全国参事会議
2月24日	退職給与金施設運用管理委員会
2月26日	収入保険推進協議会総会
3月4日	臨時総代会（書面議決）
3月16日	損害評価会畑作物共済第一部会
3月23日	理事会
3月25日	コンプライアンス改善委員会
3月31日	退職辞令交付

## (2) 総代会

### ア 通常総代会

と き 令和2年6月11日

ところ 埼玉県農業共済会館

総代会日現在総代数 (A)	189 人	出席率
本人出席 (B)	21 人	(B) / (A) 11.1 %
代理出席	0 人	
書面出席	168 人	
出席者計 (C)	189 人	(C) / (A) 100.0 %

### 重要な議事及び議決事項

- |                                                        |    |
|--------------------------------------------------------|----|
| (1) 令和元年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、<br>剰余金処分案及び不足金処理案について | 可決 |
| (2) 令和2年度事業計画設定並びに事務費賦課額及び徴収方法について                     | 可決 |
| (3) 役員報酬について                                           | 可決 |
| (4) 損害評価会委員、共済支部長及び顧問報酬について                            | 可決 |
| (5) 余裕金預入先金融機関について                                     | 可決 |
| (6) 借入金最高限度額について                                       | 可決 |
| (7) 保管中農産物補償共済の新設について                                  | 可決 |
| (8) 保管中農産物補償共済の料率の設定について                               | 可決 |
| (9) 定款の一部改正について                                        | 可決 |
| (10) 事業規程の一部改正について                                     | 可決 |
| (11) 役員選任について                                          | 可決 |
| (12) 損害評価会委員及び家畜診療所運営委員選任について                          | 可決 |
| (13) 事業実施体制改善計画について                                    | 可決 |

### イ 臨時総代会

と き 令和3年3月9日

ところ 埼玉県農業共済会館

総代会日現在総代数 (A)	189 人	出席率
本人出席 (B)	3 人	(B) / (A) 1.6 %
代理出席	0 人	
書面出席	186 人	
出席者計 (C)	189 人	(C) / (A) 100.0 %

重要な議事及び議決事項

- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| (1) 令和2年度収支予算補正について        | 可 決 |
| (2) 農作物共済掛金率の設定について        | 可 決 |
| (3) 園芸施設共済掛金率の設定について       | 可 決 |
| (4) 令和3年度家畜共済評価基準価額の設定について | 可 決 |
| (5) 令和3年度家畜共済基準単価の設定について   | 可 決 |
| (6) 定款の一部改正について            | 可 決 |
| (7) 事業規程の一部改正について          | 可 決 |
| (8) 職員給与規則の一部改正について        | 可 決 |
| (9) 剰余金処分案及び不足金処理案の訂正について  | 可 決 |

(3) 組合員の増減 (人)

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
75,217	71,948	△3,269	

(4) 役職員その他

ア 役職員

(人)

役員数	理 事			監 事	合 計
	常勤 0	非常勤 21	計 21	3	24
職員数	職員 (嘱託職員含む)		臨時・派遣		合 計
			男	143	5
	女	39	12	51	
	合 計	182	17	199	

(ア) 本所職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	参 事	監 査 室 兼 収 入 保 険 対 策 室	総務部			事業第一部			事業第二部				合 計		
			部 長	総 務 課	経 理 課	企 画 情 報 課	部 長	農 産 課	果 樹 園 芸 課	部 長	次 長	建 物 課		家 畜 課	家 畜 診 療 所
男	1	4	1	4	2 (1)	2	1	4	4	1	1	3	2	8	37
女	0	1	0	2	2	1	0	1	0	0	0	1	2	1	11
計	1	5	1	6	4 (1)	3	1	5	4	1	1	4	4	9	48

( )は兼務 合計欄は兼務を除く

(イ) 中部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	統 括 支 所 長	中部統括支所					東 松 山 支 所	上 尾 支 所	合 計
		次 長	総 務 課	収 入 保 険 課	園 芸 課	農 産 果 樹 課			
男	1	1	2 (1)	4	9 (1)	5	9	9	38
女	0	0	2	0	2	3	1	2	10
計	1	1	4 (1)	4	11 (1)	8	10	11	48

( )は兼務 合計欄は兼務を除く

(ウ) 北部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	統 括 支 所 長	北部統括支所					本 庄 支 所	秩 父 支 所	合 計
		次 長	総 務 課	収 入 保 険 課	園 芸 課	農 産 果 樹 課			
男	1	1	2	3	7 (1)	9	9	4	35
女	0	0	2	0	1	2	2	2	9
計	1	1	4	3	8 (1)	11	11	6	44

( )は兼務 合計欄は兼務を除く

(エ) 東部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	統括支所長	東部統括支所					宮代支所	越谷支所	合計
		次長	総務課	収入保険課	園芸課	農産果樹			
男	1	1	2	4	7	3	10	5	33
女	0	0	1	1	2	1	3	1	9
計	1	1	3	5	9	4	13	6	42

( )は兼務

合計は兼務を除く

(オ) 臨時・派遣職員数

(人)

		本所	中部統括支所	東松山支所	上尾支所	北部統括支所	本庄支所	秩父支所	東部統括支所	宮代支所	越谷支所	家畜診療所	合計
臨時	男	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	6
	女	3	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	9
派遣	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
合計		5	2	1	1	2	1	0	1	2	1	2	18

イ 総代、共済支部長、損害評価会委員、損害評価員

(人)

総代	共済支部長	損害評価会委員	損害評価員
189	5,467	242	2,723